

(特非) イカオ・アコ

## フィリピンの水源地域における サトウキビ畑の有機農業への転換

ひろげる助成

2年目

実践

コンポストの生産量 9t

有機農業の拡大面積 2ha

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 90%



専門家がメンバーの農地を回り実技指導を行った。

### 活動内容と成果

計画WS(1日)、先進農家訪問(2日)、専門家派遣(堆肥セミナーを含む中5日間)、38回の農業実習、TESDA(フィリピン労働雇用技術教育技能教育庁)と提携した18日間の農業研修、9回の共同作業(農地拡大)、堆肥小屋の拡大、水タンクの建設、堆肥の成分分析を行った。31人のメンバーのうち16人が農業実習の5割に参加し、20人がWSとセミナーに参加した。1年間で9tの堆肥が生産され、デモファームでは25種類の作物が育成された。また、9回の共同作業で2haの土地が有機農業に転換された。

### 課題

農地改革で水源地域の不利な立地にあるサトウキビ畑を割り当てられた小規模農家が、化学肥料を使ったサトウキビ栽培をし、採算が取れていないこと。

### 目標

化学肥料や農業を利用した収益性の低いサトウキビ栽培から、環境にやさしく収益性の高い有機農業に転換することで水源地域の環境を保全しつつ住民の生活が豊かになること。



流域の農家60名が専門家の講義を受けた。

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■苦勞した点

サトウキビの収穫時期になると農業実習への参加者を集めるのに苦勞した。水タンクを設置したが、水源が遠く水が集まらなかった。

#### ■工夫した点

専門家派遣の5日間で有効なものになるよう、事前に打ち合わせを数回実施した。セミナーに60人の参加者を集めた。



今後の  
展望

デモファームを活用し、完熟堆肥作りと有機農業の技術を普及するため、研修や堆肥・苗・培養土の販売を行う。各メンバーの土地での援農(共同作業)活動を継続し、有機農業の土地を拡大していく。

| 活動地域 |  フィリピン

〒460-0004

愛知県名古屋市中区新栄町2丁目3番地

YWCAビル7階

電話：050-5579-7651

E-mail: ikawako.mangrove@gmail.com

http://ikawako.com/

